

第6章 移動等円滑化促進地区における取組方針

6.1 地区設定の考え方

(1) 移動等円滑化促進地区の設定

1) 基本的な考え方

移動等円滑化促進地区の要件は、バリアフリー法で以下のとおり定められています。

【移動等円滑化促進地区の要件（バリアフリー法第2条20の2）】

- ①高齢者、障がい者が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設やその他の施設があり※、かつ施設間の移動が通常徒歩で行われる地区
※生活関連施設が概ね3以上所在
- ②生活関連施設及び生活関連経路（道路、広場、通路等）について移動等円滑化を促進することが特に必要であると認められる地区
- ③移動等円滑化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると特に認められる地区

上記の設定要件を踏まえるとともに、マスタープランにおける10年間の計画期間の中で効率的かつ効果的なバリアフリー化を推進するため、本市では以下の考え方にに基づき、移動等円滑化促進地区を設定します。

【移動等円滑化促進地区の設定の考え方】

熊本市立地適正化計画を踏まえ、概ね都市機能誘導区域の中で、以下の条件を勘案して設定する。

①地区の特性

- ・障がい者・高齢者等の人口
- ・旅客施設の乗降客数
- ・生活関連施設候補数
- ・特定道路の有無 等

②市民アンケート調査

- ・よく利用される地区・施設

③協議会でのご意見

- ・協議会での移動等円滑化促進地区選定に関するご意見

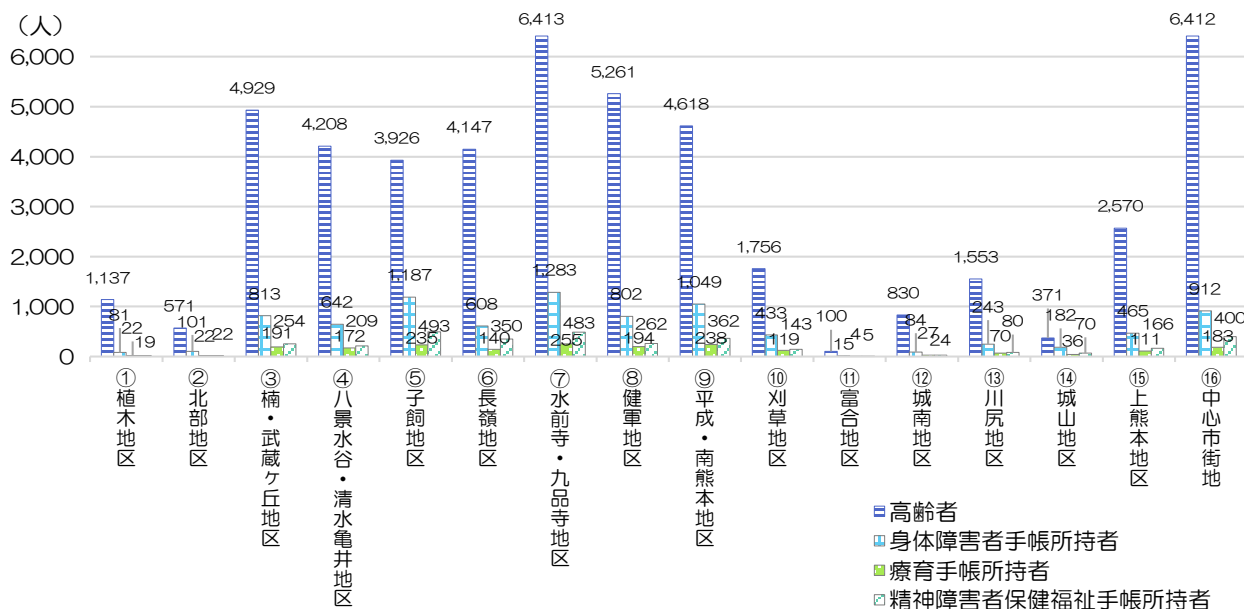
2) 優先度の評価

前段に示した移動等円滑化促進地区の設定の考え方にに基づき、地区の優先度を評価するため、地区別に特性等を整理しました。

① 地区の特性

ア. 高齢者、障がい者等の人口

高齢者、障がい者等の人口は、水前寺・九品寺地区で最も多く、次いで中心市街地地区、健軍地区となっています。



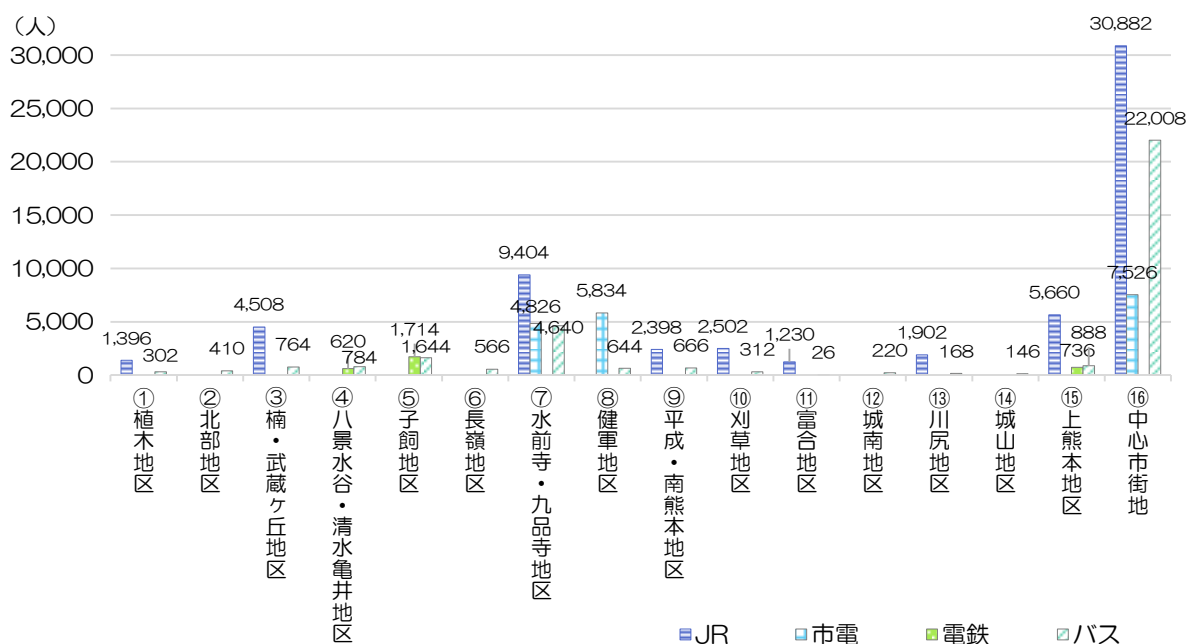
地区別高齢者・障がい者数

出典：高齢者は住民基本台帳（令和3年5月時点）

※身体障害者手帳保持者・療育手帳保持者は令和3年5月時点、精神障害者保健福祉手帳保持者は令和3年4月時点

イ. 旅客施設の乗降客数

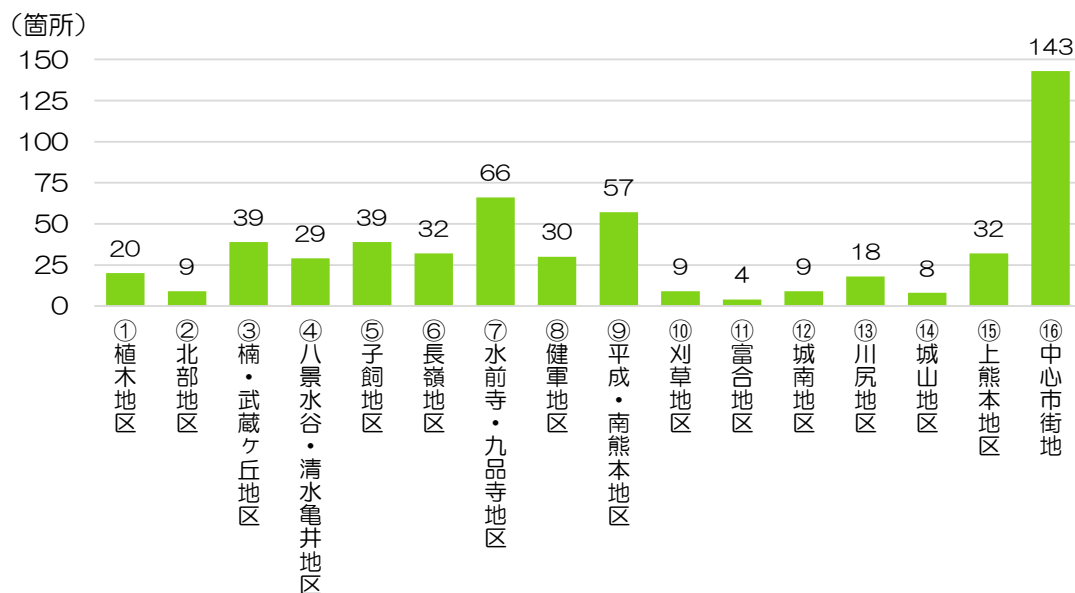
各地区の主要な旅客施設の乗降客数は、中心市街地地区が特に多く、次いで水前寺・九品寺地区、健軍地区となっています。



地区別主要旅客施設乗降客数

ウ. 生活関連施設候補数

各地区における生活関連施設となり得る施設の数、中心市街地地区が突出して多く、次いで水前寺・九品寺地区、平成・南熊本地区となっています。



地区別生活関連施設候補数

※都市計画基礎調査（平成 28 年）を基に整理

エ. 特定道路の有無

本市では、中心市街地の熊本駅周辺や桜町バスターミナル周辺、新水前寺駅周辺、健軍町電停周辺の一部路線について、バリアフリー化が特に必要な『特定道路』として指定しています。

※特定道路：道路法による道路のうち、多数の高齢者、障がい者等の利用が見込まれる道路で、国土交通大臣が指定するもの。

【熊本駅周辺】



【桜町バスターミナル周辺】



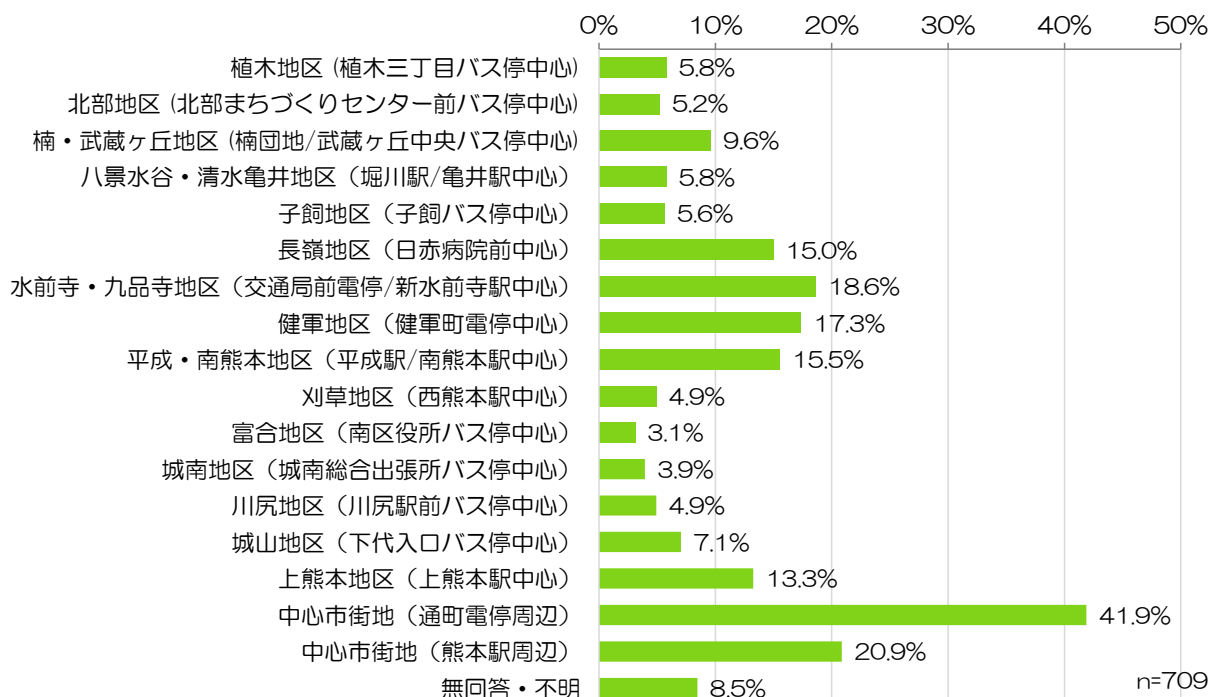
特定道路凡例
 — 整備済み
 - - - 未整備

その他、新水前寺駅周辺、健軍電停周辺の一部路線について指定済

本市の特定道路

② 市民アンケート調査

令和3年（2021年）12月に実施した市民アンケート調査においては、中心市街地地区の利用が特に多く、次いで水前寺・九品寺地区、健軍地区となっています。



地域拠点のうち日頃よく利用している地域（市民アンケート）

③ 協議会でのご意見

本マスタープランの策定にあたっては、バリアフリー法に基づき学識経験者や障がい者団体、関係行政機関等からなる熊本市移動等円滑化推進協議会を設置し、マスタープランに関する協議や調整を行いました。

移動等円滑化促進地区の選定に関しては、以下のご意見が挙げられました。

移動等円滑化促進地区選定に関する協議会でのご意見

意見内容
● <u>中心市街地については、ウォークアブルの取組と整合を図ることで相乗的な効果を生むことにつながる。</u>
● 県外からも含め来訪者の多い中心市街地はもちろん、 <u>高齢者や障がい者が多く、旅客施設の利用者も多い水前寺地区や健軍地区を促進地区とすべき</u> ではないか。その他、障がい者の方が多いらっしゃる長嶺地区についても、その他の地区として考えてみてはどうか。
● 旅客施設の利用者が多く、障がいのある方も含め多くの方が利用する中心市街地でのバリアフリー化が重要であるとともに、 <u>多核連携都市の実現に向けては、その他の地区においてもなにかしら考えていかなければならない。</u>
● 障がいがある方等にとっても大きな役割を果たしている公共交通については、タクシーも含め、引き続き <u>利用環境の向上に努めることが重要</u> である。
● 地域によっては、地域住民の通行が多い通学路でも、幅員が狭く交通量も多い道路がある。色分けしている歩道も小学校の前だけという地域もあり、まだまだ見ていて <u>怖いと感じる通学路は多く存在</u> している。
● <u>市民がお互いに理解し支えあうことによってバリアフリー化を進めていく</u> ということは、都市の魅力向上につながる。

3) 地区の選定結果

アンケート結果より、よく利用される施設が集積し、市民ニーズが高いことが伺える中心市街地地区、水前寺・九品寺地区、健軍地区については、高齢者・障がい者の人口や旅客施設の利用者数等が多く、取組による効果が特に高いことが想定されます。

また、協議会では、ウォークアブルの取組との連携により相乗効果が見込まれる中心市街地地区や、高齢者や障がい者、旅客施設利用者が多い水前寺地区、健軍地区に対して、移動等円滑化促進地区の選定に関するご意見が挙げられました。

以上を踏まえ、移動等円滑化促進地区として中心市街地地区（通町筋・桜町周辺、熊本駅周辺）、水前寺・九品寺地区、健軍地区を設定します。

各地区の特性や市民アンケート結果

	市民 アンケート	地域特性				特定 道路の 有無	来訪者数 ≡ 宿泊施設 数 (人)
	よく利用 される地区	高齢者・障 がい者等の 人口(人)	主要な旅客施設の平均乗降客数 (人/日)	生活関連施設 候補数 (箇所)			
①植木地区	51	1,259	JR植木駅	1,396	20		0
②北部地区	22	716	北部まちづくりセ ンター前バス停	410	9		0
③楠・武蔵ヶ丘地区	78	6,187	JR武蔵塚駅	4,508	39		0
④八景水谷・清水亀井地区	107	5,231	堀川駅	620	29		1
⑤子飼地区	45	5,841	藤崎宮前駅	1,714	39		0
⑥長嶺地区	86	5,245	県立大通バス停	566	32		3
⑦水前寺・九品寺地区	221	8,434	JR新水前寺駅	9,404	66	有	23
⑧健軍地区	189	6,519	健軍町電停	5,834	30	有	1
⑨平成・南熊本地区	78	6,267	JR平成駅	2,398	57		2
⑩刈草地区	30	2,451	JR西熊本駅	2,502	9		1
⑪富合地区	18	124	JR富合駅	1,230	4		0
⑫城南地区	20	965	城南バス停	220	9		1
⑬川尻地区	17	1,946	JR川尻駅	1,902	18		0
⑭城山地区	70	659	城山下代バス停	146	8		0
⑮上熊本地区	71	3,312	JR上熊本駅	5,660	32		2
⑯中心市街地 (通町筋・桜町周辺、熊本駅周辺)	629	7,907	JR熊本駅	30,882	143	有	48

(2) 生活関連施設の設定

生活関連施設とは、高齢者、障がい者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設、その他の施設のことです。

マスタープランでは、旅客施設、官公庁、病院、商業施設など、高齢者や障がい者だけでなく、バリアフリーを必要とする多様な来訪者が多い施設について、施設設置管理者との協議調整を図りながら関係者等からのご意見を踏まえ、生活関連施設として設定します。

生活関連施設の設定の考え方

区分	種類	対象規模の目安	備考
官公庁	市役所・区役所	全施設	左記の対象規模の目安のほか、各関係者等からのご意見を踏まえ、 適宜生活関連施設として位置づけ
	郵便局、銀行		
	警察署（交番含む）、裁判所		
	まちづくりセンター、コミュニティセンター等		
教育 ・文化施設	図書館		
	市民ホール、文化ホール		
	学校（小・中・高等学校）、特別支援学校等		
	博物館・美術館・音楽館、資料館		
保健・医療 ・福祉施設	病院・診療所	延床面積 1,000 ㎡以上	
	総合福祉施設、老人・障がい者福祉施設等		
商業施設	大規模小売店舗等	延床面積 1,000 ㎡以上	
	複合施設 等	延床面積合計 1,000 ㎡以上	
宿泊施設	ビジネスホテル、シティホテル等	延床面積 2,000 ㎡以上	
公園 ・運動施設	公園	都市公園 (街区公園を除く)	
	体育館・武道館その他屋内施設		
その他施設	結婚式場、葬祭場冠婚葬祭に関わる施設	延床面積 2,000 ㎡以上	
	観光施設	全施設	
	特定路外駐車場	面積 500 ㎡以上	
	バス停	平均乗降客数 100 名以上 上/日	
旅客施設	旅客施設 （鉄道駅、軌道駅、バスターミナル）	平均乗降客数 100 名以上 上/日	

(3) 生活関連経路の設定

生活関連経路とは、生活関連施設相互間の経路のことを言います。

本マスタープランでは、バリアフリーへの配慮が特に必要な経路として、下記の考え方に基
づき生活関連経路を設定します。

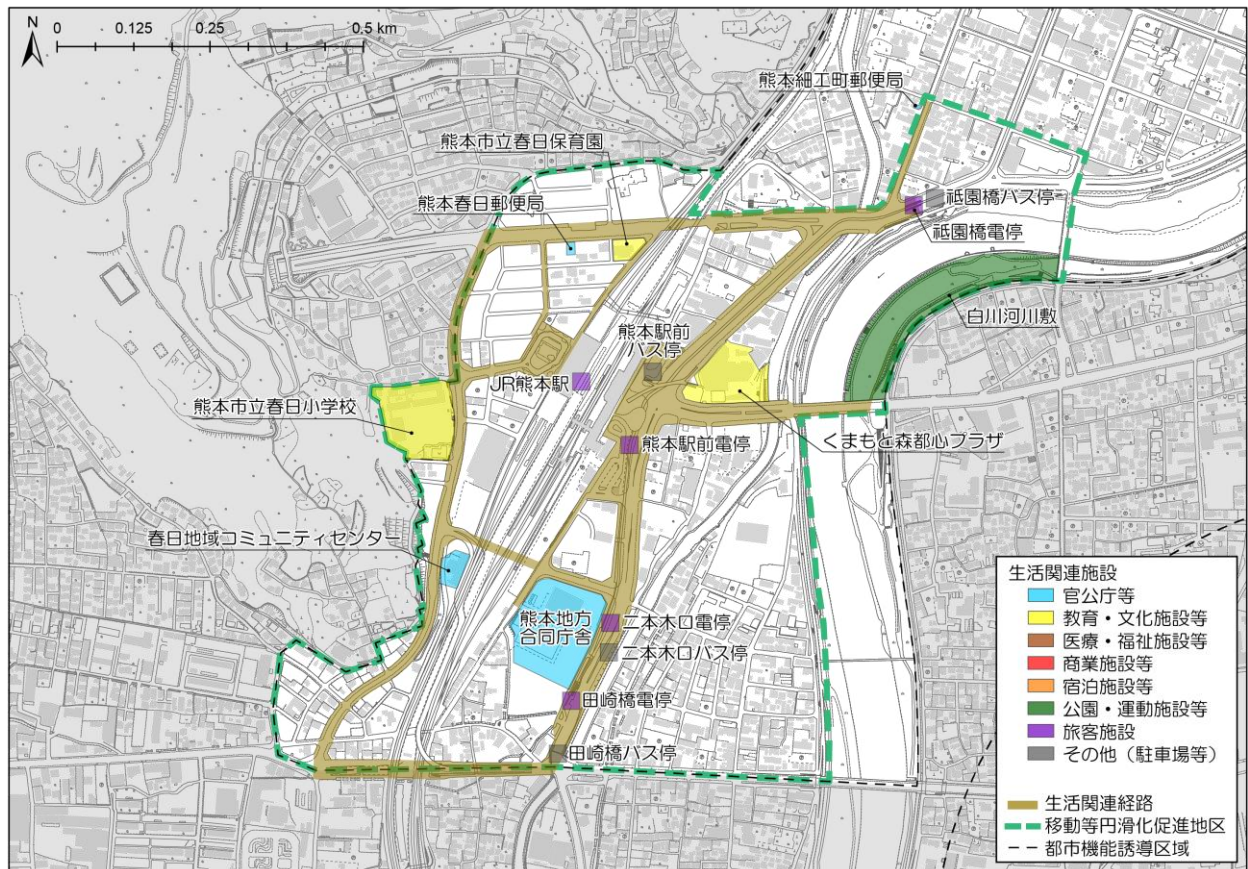
【生活関連経路設定の考え方】

- ① 各地区の起点となる「旅客施設」からのアクセス動線に配慮し、「旅客施設」と「旅客施設以外の生活関連施設」を結ぶ経路
- ② 各地区内の回遊性、ネットワークに配慮し、生活関連施設間を結ぶ経路
- ③ 生活関連施設を訪れる人の利用頻度が高い経路や歩行者交通量の多い経路、路線バス等の公共交通が運行する路線 等

※本市で既に指定されている「特定道路」については、優先的に生活関連経路に位置づけるものとします。

6.2 地区別の取組方針

(1) 中心市街地地区

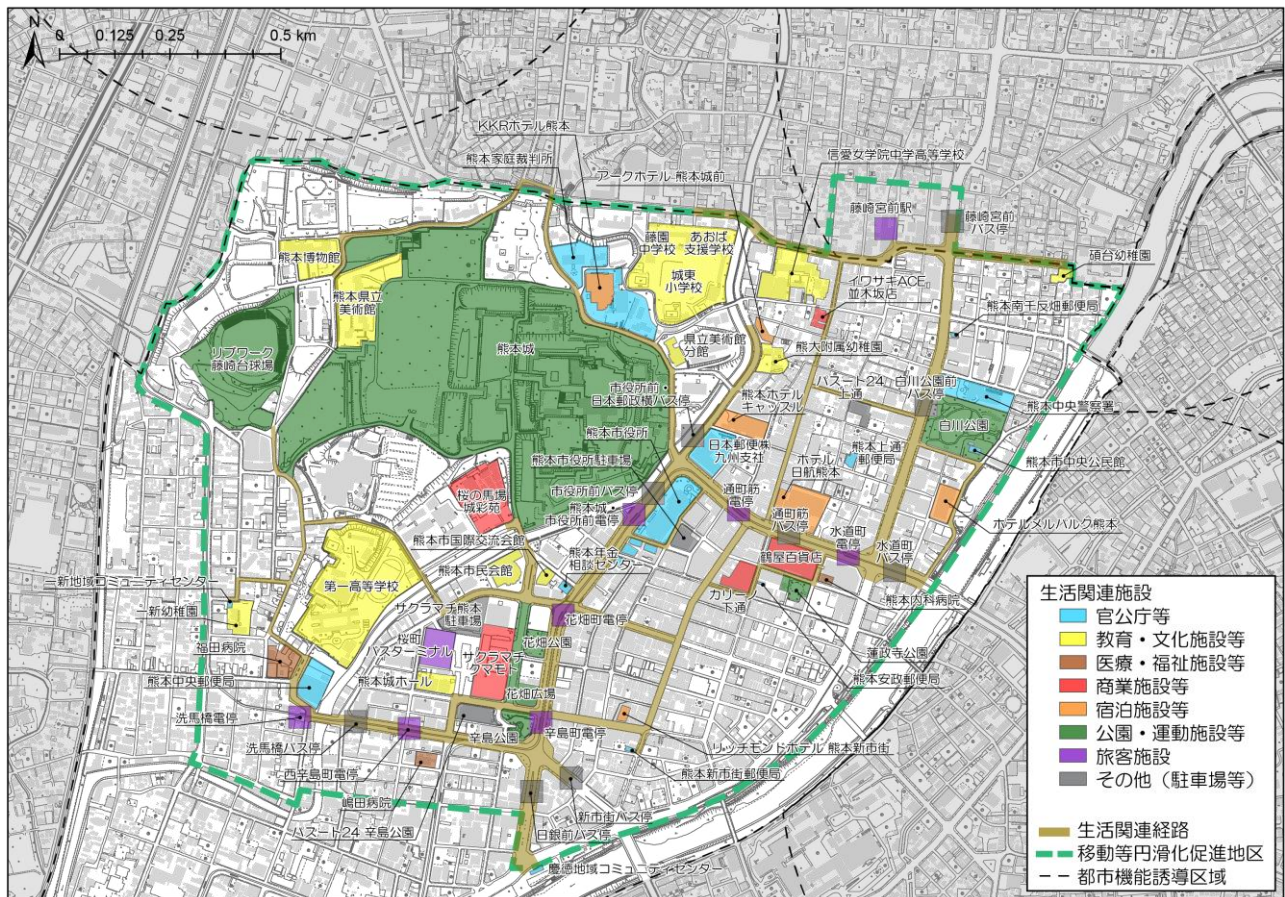


中心市街地地区（熊本駅周辺）

生活関連施設一覧（熊本駅周辺）

分類	施設名称
官公庁等	熊本地方合同庁舎
	熊本春日郵便局
	熊本細工町郵便局
	春日地域コミュニティセンター
教育・文化施設等	くまもと森都心プラザ
	熊本市立春日小学校
	熊本市立春日保育園
公園・運動施設等	白川河川敷左岸緑地帯

分類	施設名称
旅客施設	JR熊本駅
	祇園橋電停
	熊本駅前電停
	二本木口電停
	田崎橋電停
その他（駐車場等）	二本木口バス停
	田崎橋バス停
	熊本駅前バス停
	祇園橋バス停



中心市街地地区（通町筋・桜町周辺）

生活関連施設一覧（通町筋・桜町周辺）

分類	施設名称	分類	施設名称
官公庁等	熊本市役所	宿泊施設等	KKRホテル熊本
	熊本上通郵便局		熊本ホテルキャッスル
	熊本中央郵便局		ホテル日航熊本
	熊本新市街郵便局		ホテルメルパルク熊本
	熊本南千反畑郵便局		リッチモンドホテル熊本新市街
	熊本安政郵便局		アークホテル熊本城前
	日本郵便株式会社九州支社	公園・運動施設等	熊本城
	熊本中央警察署		白川公園
	熊本家庭裁判所		蓮政寺公園
	熊本市中央公民館		花畑公園
	慶徳地域コミュニティセンター		辛島公園
	一新地域コミュニティセンター		花畑広場
	街角の年金相談センター熊本		リブワーク藤崎台球場
教育・文化施設等	市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）	旅客施設	水道町電停
	熊本市国際交流会館		通町筋電停
	熊本城ホール		熊本城・市役所前電停
	熊本市立城東小学校		花畑町電停
	熊本市立藤園中学校		辛島町電停
	熊本信愛女学院中学高等学校		西辛島町電停
	熊本県立第一高等学校		洗馬橋電停
	熊本市立あおば支援学校		藤崎宮前駅
	熊本県立美術館		熊本桜町バスターミナル
	熊本県立美術館分館	その他（駐車場等）	通町筋バス停
	熊本博物館		市役所前バス停
	熊本大学教育学部附属幼稚園		水道町バス停
	熊本市立碩台幼稚園		藤崎宮前バス停
	熊本市立一新幼稚園		白川公園前バス停
医療・福祉施設等	一般財団法人杏仁会 熊本内科病院		市役所前・日本郵政横バス停
	社会医療法人愛育会 福田病院		新市街バス停
	医療法人社団如水会 嶋田病院		日銀前バス停
商業施設等	イワサキACE 並木坂店		洗馬橋バス停
	鶴屋百貨店		パスト24上通
	カリノ下通		パスト24辛島公園
	サクラマチクマモト		サクラマチ熊本駐車場
	桜の馬場 城彩苑		熊本市役所駐車場

1) 地区の概要

地区の位置づけ	中心市街地（熊本市第7次総合計画）
移動等円滑化促進地区面積	熊本駅周辺：約 76ha 通町筋・桜町周辺：約 241ha
生活関連施設数	熊本駅周辺：16 通町筋・桜町周辺：68
生活関連経路延長	熊本駅周辺：約 5.8 km 通町筋・桜町周辺：約 11.5 km
主要な旅客施設の日平均乗降客数	JR 熊本駅：30,882 人／日（令和元年度） 通町筋電停：7,073 人／日（令和元年度）

2) 地区の特徴と課題

中心市街地地区は、熊本市の玄関口である JR 熊本駅をはじめとして公共施設や商業施設、教育施設等が集積しており、都市機能が充実している地区です。

近年、桜町地区再開発施設の開業をはじめ、花畑広場や熊本駅白川口駅前広場の整備が完了するなど、拠点におけるバリアフリー化が進められるとともに、新たな賑わいと回遊の拠点が誕生しています。

熊本駅周辺においては、駅及び駅前広場、特定道路に指定されている主要な道路を中心に、バリアフリー化が進められています。通町筋周辺では、桜町地区市街地再開発事業によりバスターミナルや周辺のバリアフリー化が進んでいますが、上通、下通、新市街等の商店街においては、夜間及び早朝の時間帯において許可車両が進入するなどの安全面の課題を抱えていることから視覚障害者誘導用ブロックが未整備となっています。

3) バリアフリー方針

- 集積する商業施設等の生活関連施設、及び公共交通機関から生活関連施設までの生活関連経路において、ハード・ソフト両面からの一体的なバリアフリー化を推進します。
- アーケード内において、誰もが安全に移動できるバリアフリー環境の整備を推進します。
- 熊本市の中心部や熊本城などの観光地周辺において、案内の充実によるさらなる賑わい創出と回遊性向上を目指します。
- 商店街と連携し、心のバリアフリーを推進します。

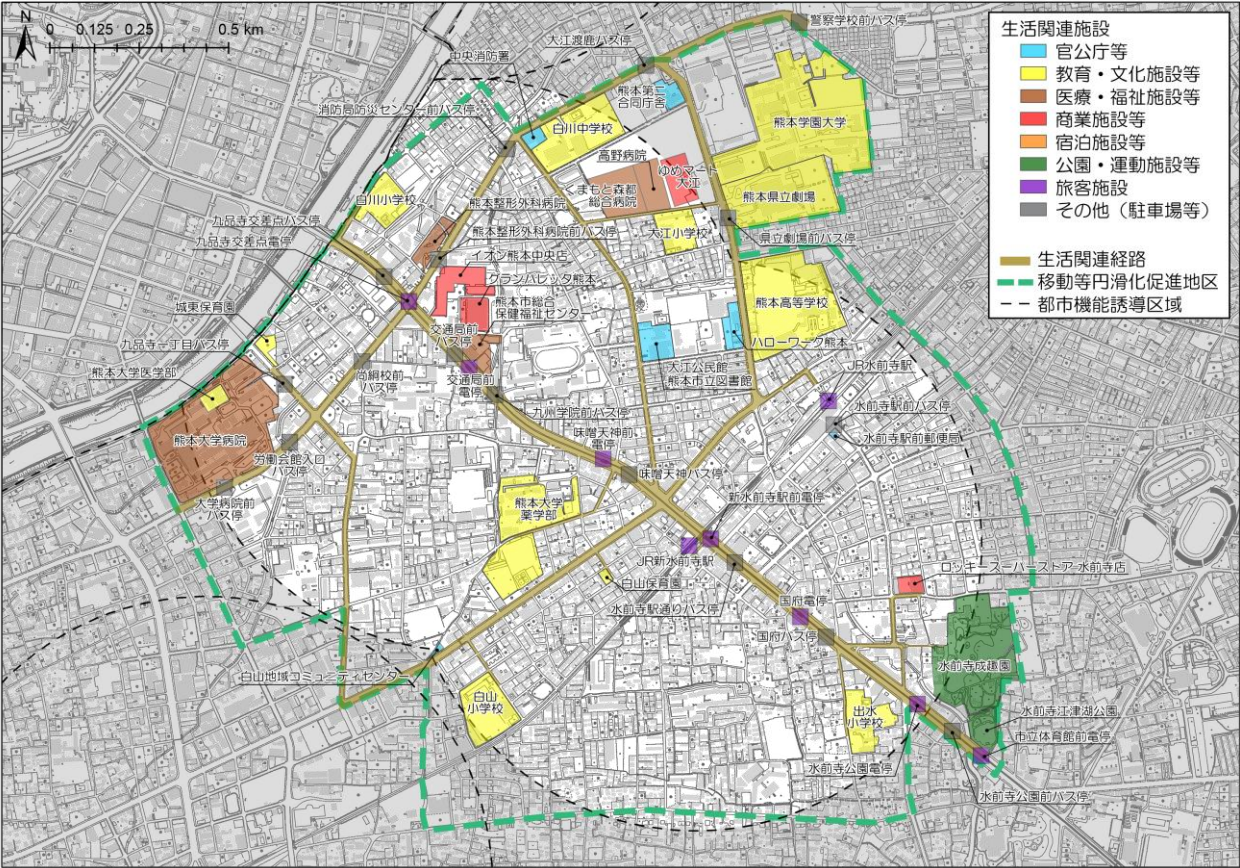
4) 具体的課題と対応

以下に、まちあるきワークショップで参加者から挙げられた主な課題と対応の考え方を示します。

施設種別	課題	対応の考え方	国のガイドライン等における望ましい対応
電停	転落防止柵がない	車両乗降口以外の部分に転落防止柵を設置する。	ホームドア、可動式ホーム柵、内方線付き点状ブロックその他の転落を防止するための設備を設ける。
	車椅子対応車両が限られている	低床車両の導入を推進する。	-
	ホームでは車椅子同士のすれ違いが難しい	車椅子の転回やすれ違いに配慮した幅員を確保する。	片側を使用する乗降場の有効幅員は、1.5m以上とする。
	時刻表の文字が小さく見えにくい	路線図や時刻表は文字の大きさや高さ、見やすさに配慮して掲示する。	時刻表などの掲出高さは、歩行者及び車椅子使用者が共通して見やすい高さとする。
	電子時刻表は車椅子からは反射して見えない	電光掲示板は多様な色覚特性に配慮し、視認しやすい色・明るさ、表示速度とする。	外光、照明の逆光や光の反射により、見にくくならないよう配慮する。
	交差点の軌道に車椅子の車輪がはまらないか心配	軌道と道路の高低差はできる限り小さくし、車椅子やベビーカーの車輪等がはまらないよう軌道の隙間はできる限り狭くする。	軌条面と道路面との高低差は、できる限り小さくするものとする。
	交差点の軌道の段差にベビーカーが引っかかる		
バス停	電光掲示板で遅延情報等がわかるが小さくてみにくい	電光掲示板は多様な色覚特性に配慮し、視認しやすい色・明るさ、表示速度とする。	-
	系統が多くわかりにくいいため表示形式が統一されるとよい		
道路	自転車がスピードを出して通っており危険	自転車利用者へのルール・マナーの啓発を推進する。	自転車通行のルールを周知・徹底する。
	すれ違う自転車が怖い		
	通町筋バス停利用者が視覚障害者誘導用ブロック上で待機している	市民や事業者への周知・啓発を行い、心のバリアフリーを推進する。	-
	占有物（電柱、プランター）により歩道幅員が狭くなり車椅子が通行できない	幅員の狭い歩道では、必要に応じて植栽等の再配置、熊本市無電柱化推進計画に基づく電線類地中化などにより有効幅員の確保に努める。	有効幅員はできるだけ連続して幅広く確保するとともに、植樹ますや車止め等は通行の支障とならないよう設置する。
	道路照明等により歩道幅員が狭くなっているため車椅子が通行できない		
	歩道隅切り部分の横断勾配が急で車椅子だと通行しづらい	歩道の段差やがたつき、傾きを解消する。	歩道等又は自転車歩行者専用道路等の縦断勾配は、5%以下とする（やむを得ない場合は 8%以下）。横断勾配は 1%以下とする（やむを得ない場合は 2%以下）。
	歩道の縦断勾配が急で、電動車椅子でないと通行が難しい		
	アーケードに視覚障害者誘導用ブロックがない	移動の連続性に配慮し、周囲の舗装との輝度比を確保した視覚障害者誘導用ブロックを連続的かつ極力直線的に敷設する。	歩道等、自転車歩行者専用道路等には、視覚障害者の移動等円滑化のために必要であると認められる箇所に、視覚障害者誘導用ブロックを敷設する。
	タイルの欠けや割れが多く、ガタついている	がたつきの発生しにくい舗装材を採用する。	舗装は平たんで、滑りにくく、かつ水はけの良い仕上げとするものとする。

施設種別	課題	対応の考え方	国のガイドライン等における望ましい対応
交差点	歩行者用信号の青時間が短い	高齢者や障がい者が安全に横断できるよう、歩行者用青信号の延長などにより適切な青時間を確保する。	高齢者、障害者等が横断を終わるため通常要すると認められる時間内に赤色の灯火の信号の表示を開始しないものとする。
	雨の日は音響式信号の音が聞こえにくい	生活関連経路を中心に主要な信号交差点には、バリアフリー化された信号機（音響式や経過時間表示式など）を設置するとともに、押しボタンの位置に配慮する。	-
建築物	車椅子の貸出やエレベーターの案内表示が少ない	わかりやすい位置に多様な利用者に配慮した案内を設置する（ピクトグラム、音声案内、点字・多言語表記など）。	建築物又はその敷地内のエレベーターその他の昇降機又は便所の配置を点字、文字の浮き彫り、音による案内、その他これらに類する方法により視覚障害者に示すための設備を設ける。／表示板は、ピクトグラム等の表示すべき内容が容易に識別できるものとする。
	トイレ前の案内図は通路や多機能トイレであることの表示がわかりにくい		
	トイレに音声案内がない		
	多機能トイレのサインがわかりにくい	バリアフリースイッチには、聴覚障がい者が非常事態を把握できるよう、フラッシュライト等を設置する。	便所及び便室内では聴覚障害者に非常警報がわかるよう、フラッシュライト等の光警報装置を設ける。
	トイレの個室に緊急ランプがついていない		
	多機能トイレが手動ドアとなっている	車椅子使用者等が円滑に利用できる構造のトイレを設置する（十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴込みがある洗面台の設置など）。	自動的に開閉する構造その他の車椅子使用者が容易に開閉して通過できる構造とする。
	異性介助できるトイレがあるとよい	異性介助や多様な利用者等に配慮し、男女共用の利用ができるバリアフリースイッチの設置を推進する。	1 以上の車椅子使用者用便所は大型ベッド付きとし、男女が共用できる位置に設ける。
	一般トイレに介助者やベビーカーが入れる広めの個室があるとよい	バリアフリーのために、一般トイレは男性用女性用それぞれに、乳幼児用設備を備えたベビーカーが入る広めの個室を設置する。	ベビーカーとともに入れる広さを備えた、乳幼児椅子、乳幼児用おむつ交換台、着替え台等を備えた乳幼児設備を有する便所を設ける。
	一般トイレにベビーチェアがある個室があるがベビーカーが入れない広さになっている		
	エレベーターに鏡があると車椅子で出入りしやすい	エレベーターは、多様な利用者が円滑に利用できる構造とする（十分な広さ、車椅子使用者対応操作盤・開延長ボタン・浮き彫り表示のボタン・足元まで見える鏡・音声案内・緊急時等に情報提供を行う表示装置の設置など）。	籠入口正面壁面の床上 40 cm から 150 cm 程度の範囲に、出入口状況確認用の鏡を設ける。
	出入口のマットが視覚障害者誘導用ブロック上に置かれている	多様な利用者への適切な対応について、職員の教育を実施し、案内やサポート等の対応を充実する。	-

(2) 水前寺・九品寺地区



水前寺・九品寺地区

生活関連施設一覧

分類	施設名称
官公庁等	熊本第二合同庁舎
	水前寺駅前郵便局
	熊本市消防局 中央消防署
	大江公民館
	白山地域コミュニティセンター
	ハローワーク熊本
教育・文化施設等	熊本市立図書館
	公益財団法人 熊本県立劇場
	熊本市立白山小学校
	熊本市立出水小学校
	熊本市立大江小学校
	熊本市立白川小学校
	熊本市立白川中学校
	熊本県立熊本高等学校
	熊本大学薬学部
	熊本大学医学部
	学校法人熊本学園 熊本学園大学
	熊本市立城東保育園
	熊本市立白山保育園
医療・福祉施設等	社会医療法人社団高野会
	大腸肛門病センター高野病院
	医療法人創起会 くまもと森都総合病院
	社会医療法人 令和会 熊本整形外科病院
	熊本大学病院 熊本市総合保健福祉センター

分類	施設名称
商業施設等	ゆめマート大江
	イオン熊本中央店
	ロッキースーパーストア
	水前寺店 グランパレット熊本
公園・運動施設等	水前寺成趣園
	水前寺江津湖公園
旅客施設	九品寺交差点電停
	交通局前電停
	味噌天神前電停
	新水前寺駅前電停
	国府電停
	水前寺公園電停
	市立体育館前電停
	JR新水前寺駅
	JR水前寺駅
その他 (駐車場等)	消防局防災センター前バス停
	尚絅校前バス停
	労働会館入口バス停
	九州学院前バス停
	九品寺交差点バス停
	熊本整形外科病院前バス停
	大江渡鹿バス停
	警察学校前バス停
	交通局前バス停
	県立劇場前バス停
	味噌天神バス停
	水前寺駅前バス停
	水前寺駅通りバス停
	国府バス停
	水前寺公園前バス停
	大学病院前バス停
	九品寺一丁目バス停

1) 地区の概要

地区の位置づけ	地域拠点（熊本市第7次総合計画）
移動等円滑化促進地区面積	約 372ha
生活関連施設数	54
生活関連経路延長	約 11.5 km
主要な旅客施設の日平均乗降客数	JR 新水前寺駅：9,404 人／日（令和元年度）

2) 地区の特徴と課題

水前寺・九品寺地区は、JR 新水前寺駅と熊本市電の新水前寺駅前電停を中心とした公共交通の利便性が非常に高い地区です。

公共交通の沿線を中心として、熊本市のシンボルのひとつである水前寺成趣園をはじめとした観光・業務機能のほか、教育・学術研究施設も多く立地しており、水前寺成趣園をはじめとした熊本らしさを感じることのできる風格ある都市空間づくりや、水と緑・歴史・文化と触れ合える公共交通等による回遊ネットワークの形成、観光・レクリエーションの拠点としての整備など、更なる賑わいの創出を図っていくことが求められます。

駅等の主な施設や幹線道路においては基本的にバリアフリー化されていますが、ゆめマート水前寺駅店や九品寺東郵便局前等は歩道のない狭隘な道路であり、バリアフリー化が困難な状況です。また、JR 水前寺駅北側の道路など視覚障害者誘導用ブロックが未整備となっている箇所があり、経路と施設の一体的なバリアフリー化が求められます。

3) バリアフリー方針

- 商業施設や医療施設、公共施設等の生活関連施設及び公共交通機関から生活関連施設までの生活関連経路において、ハード・ソフト両面からの一体的なバリアフリー化を推進します。
- 地区の軸となる公共交通におけるバリアフリー化を推進し、他地区からのアクセスにおける利便性を向上します。
- 水前寺成趣園等の観光地周辺において、わかりやすい案内を行い、回遊性の向上を図ります。

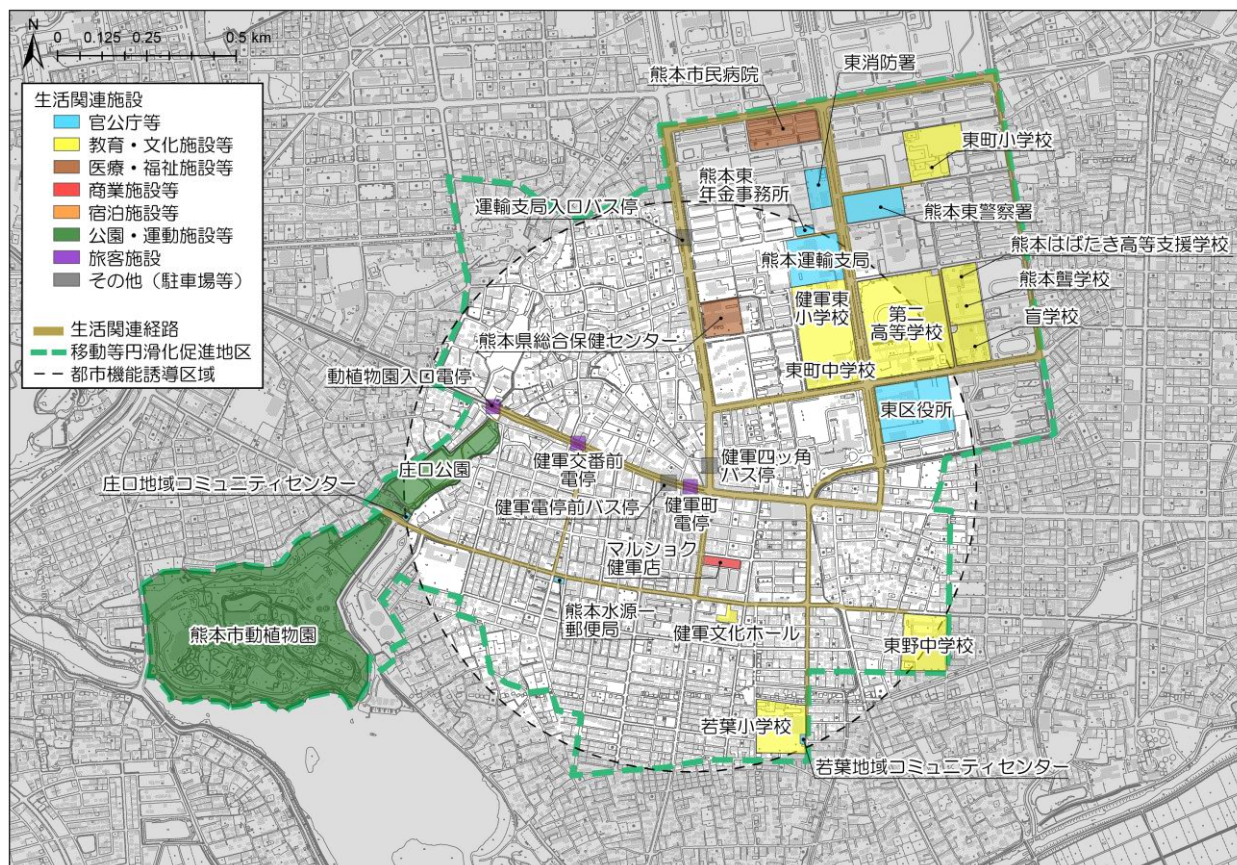
4) 具体的課題と対応

以下に、まちあるきワークショップで参加者から挙げられた主な課題と対応の考え方を示します。

施設種別	課題	対応の考え方	国のガイドライン等における望ましい対応
バス停	バスロケーションシステムのモニターが高すぎて見えにくい	路線図や時刻表は文字の大きさや高さ、見やすさに配慮して掲示する。	時刻表などの掲出高さは、歩行者及び車椅子使用者が共通して見やすい高さとする。
	バスの時刻表がバス会社でまちまちで見にくい		-
	時刻表の文字が小さい		-
	バスを歩道にできる限り寄せてほしい	バス停留所での正着・ニーリングを徹底する。	-
	運転手の行先アナウンスがないことがある	多様な利用者への適切な対応について、職員の教育を実施し、案内やサポート等の対応を充実する。	乗合バス車両内に、当該バス車両の運行に関する情報を音声により提供するための設備が備えられた場合には、当該情報を音声により提供する。
道路	歩道上の電線共同溝の機器の蓋による凹凸で車椅子が通行しづらい	歩道上にマンホールの蓋等を設置する際は、平坦性に配慮する。	マンホール等による段差等により平坦性が侵されないよう配慮することが望ましい。
	車両乗入部は道路側に傾斜がついているため車椅子が滑りそうになる	歩道の段差やがたつき、傾きを解消する。	歩道等又は自転車歩行者専用道路等の縦断勾配は、5%以下とする（やむを得ない場合は 8%以下）。横断勾配は 1%以下とする（やむを得ない場合は 2%以下）。
	車両乗入部の傾斜が大きく車椅子やベビーカーの通行の支障になる		
	街路樹で歩道が盛り上がりおり車椅子の通行に支障がある		
	段差や穴がある	がたつきの発生しにくい舗装材を採用する。	舗装は平たんで、滑りにくく、かつ水はけの良い仕上げとするものとする。
	タイルの歩道は全体的に凹凸があり通行しづらい		
	聞こえないと自転車が後ろから来ると怖い、とっさに避けられない	自転車利用者へのルール・マナーの啓発を推進する。	自転車通行のルールを周知・徹底する。
	工事車両が歩道の視覚障害者誘導用ブロック上に停車している	市民や事業者への周知・啓発を行い、心のバリアフリーを推進する。	-
交差点	視覚障害者誘導用ブロックが小刻みに曲げられていると方向がわからなくなり混乱する	移動の連続性に配慮し、周囲の舗装との輝度比を確保した視覚障害者誘導用ブロックを連続的かつ極力直線的に敷設する。	視覚障害者の歩行動線を考慮して、最短距離で目的地に辿り着けるよう誘導するために連続的かつ極力直線的に敷設する。
	エスコートゾーンが破損していると白杖がつかえる	横断歩道の表示等の適切な維持管理により、劣化箇所の速やかな修繕を行う。	-
	横断歩道の凹凸で車椅子が通行しづらい		

施設種別	課題	対応の考え方	国のガイドライン等における望ましい対応
	車椅子では歩行者用ボタンが押しづらい 押しボタンの位置が高く（850mmが良い）硬い	生活関連経路上の信号交差点には、バリアフリー化された信号機（音響式や経過時間表示式など）を設置するとともに、押しボタンの位置に配慮する。	-
建築物	売り場の案内をイラストにしてほしい	わかりやすい位置に多様な利用者に配慮した案内を設置する（ピクトグラム、音声案内、点字・多言語表記など）。	表示板は、ピクトグラム等の表示すべき内容が容易に識別できるものとする。
	トイレのマークがモノクロでわかりにくい		エレベーターその他の昇降機、便所又は駐車施設の付近には、それぞれ、当該エレベーターその他の昇降機、便所又は駐車施設があることを表示する表示板（標識）を設ける
	エレベーターの案内が見つからない		
	エスカレーター付近にエレベーターの案内が欲しい		建築物又はその敷地内のエレベーターその他の昇降機又は便所の配置を点字、文字の浮き彫り、音による案内、その他これらに類する方法により視覚障害者に示すための設備を設ける
	トイレ入口に音声案内がないと男女の別がわからない		
	視覚障害者が一人で買い物することは難しい	多様な利用者への適切な対応について、職員の教育を実施し、案内やサポート等の対応を充実する。	-
	個室トイレの流す方法（ボタンの場所）がわからないときがある	バリアフリーのために、一般トイレは和式便器を洋式化するほか、JIS規格に合わせた形状・配置とする。	腰掛便座の横壁面に、紙巻器、便器洗浄ボタン、呼出ボタンを設ける場合は、JIS S 0026 に基づくものとする。
	多目的トイレのベビーベッドが大きく車椅子で入りにくい	車椅子使用者等が円滑に利用できる構造のトイレを設置する（十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴込みがある洗面台の設置など）。	車椅子使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間を確保する。
	車椅子ではトイレのドアの開閉・施錠が難しい		自動的に開閉する構造その他の車椅子使用者が容易に開閉して通過できる構造とする。
	施設の上屋と駐車場が連続していない箇所がある	施設出入口付近に雨天時の乗降に配慮した障害者用駐車施設（幅350cm以上）を設置し、わかりやすく表示する。	車椅子使用者の乗降に必要なスペースは屋内に設ける、又は屋外の駐車施設に屋根若しくは庇を設ける。

(3) 健軍地区



健軍地区

生活関連施設一覧

分類	施設名称
官公庁等	熊本市東区役所
	熊本水源一郵便局
	熊本市消防局 東消防署
	熊本県警 熊本東警察署
	熊本運輸支局
	熊本東年金事務所
	庄口地域コミュニティセンター
	若葉地域コミュニティセンター
教育・文化施設等	健軍文化ホール
	熊本市立若葉小学校
	熊本市立健軍東小学校
	熊本市立東町小学校
	熊本市立東野中学校
	熊本市立東町中学校
	熊本県立第二高等学校
	熊本はばたき高等支援学校
	熊本県立盲学校
	熊本県立熊本聾学校

分類	施設名称
医療・福祉施設等	熊本市民病院
	公益財団法人
	熊本県総合保健センター
商業施設等	マルショク 健軍店
公園・運動施設等	庄口公園
	熊本市動植物園
旅客施設	動植物園入口電停
	健軍交番前電停
	健軍町電停
その他 (駐車場等)	運輸支局入口バス停
	健軍電停前バス停
	健軍四ッ角バス停

1) 地区の概要

地区の位置づけ	地域拠点（熊本市第7次総合計画）
移動等円滑化促進地区面積	約 279ha
生活関連施設数	29
生活関連経路延長	約 10.2 km
主要な旅客施設の日平均乗降客数	健軍町電停：5,834 人／日（令和元年度）

2) 地区の特徴と課題

健軍地区は、熊本市電の終点である健軍町電停を中心とした地区です。健軍商店街をはじめとする商業施設や市民病院等の医療施設、東区役所等の公共施設が立地し、多様な生物や自然環境を有する江津湖や動植物園などが隣接する、都市の利便性と自然が調和した地区となっています。

主要な道路においては旧基本構想における特定事業に基づき概ねバリアフリー化されていますが、一部区間において視覚障害者誘導用ブロックが未整備となっている箇所が見受けられます。また、地区の中心に位置する健軍町電停の乗降ホームにおいて、ホームの幅が狭いため、車椅子利用者が上り側ホームから降車していることや、生活拠点となる商店街内は視覚障害者誘導用ブロックが整備されていないことなどが課題となっており、施設・経路間の一体的なバリアフリー化が求められます。

3) バリアフリー方針

- 商業施設や医療施設、公共施設等の生活関連施設及び公共交通機関から生活関連施設までの生活関連経路において、ハード・ソフト両面からの一体的なバリアフリー化を推進します。
- アーケード内において、誰もが安全に移動できるバリアフリー環境の整備を推進します。
- 電停におけるバリアフリー化を推進し、他地区からのアクセスにおける利便性を向上します。
- 商店街と連携し、心のバリアフリーを推進します。

4) 具体的課題と対応

以下に、まちあるきワークショップで参加者から挙げられた主な課題と対応の考え方を示します。

施設種別	課題	対応の考え方	国のガイドライン等における望ましい対応
電停	ホームがとても狭く車椅子利用ができない、車両にぶつかりそうで怖い	車椅子の転回やすれ違いに配慮した幅員を確保する。	片側を使用する乗降場の有効幅員は、1.5m以上とする。
バス停	バス停の時刻表が片面のみだが両面の方が見やすい	路線図や時刻表は文字の大きさや高さ、見やすさに配慮して掲示する。	案内サイン類の表示面は、動線と対面する向きに掲出する。
道路	植樹帯に何も植えられおらず水たまりになっている	舗装や視覚障害者誘導用ブロック、案内設備、植栽樹木などの適切な維持管理を行う。	-
	視覚障害者誘導用ブロック近くまで中木が伸びてきており歩行に支障がある		
	グレーチングの幅(穴)が大きく杖がはまる	歩行者の通行が想定される場所の側溝のフタ(グレーチング)などは、目の細かいものにする。	-
	店舗前の横断勾配が大きい	歩道の段差やがたつき、傾きを解消する。	歩道等又は自転車歩行者専用道路等の縦断勾配は、5%以下とする(やむを得ない場合は8%以下)。横断勾配は1%以下とする(やむを得ない場合は2%以下)。
	バス停に傾斜がある		
	歩道の傾斜が急で通行しづらい		
	歩道の勾配の付け方が悪く水がたまっている		
	段差・穴がある	がたつきの発生しにくい舗装材を採用する。	舗装は、平たんで、滑りにくく、かつ、水はけの良い仕上げとするものとする。
	ブロック舗装ががたついている		
	視覚障害者誘導用ブロックが下水蓋により途切れている箇所がある	移動の連続性に配慮し、周囲の舗装との輝度比を確保した視覚障害者誘導用ブロックを連続的かつ極力直線的に敷設する。	視覚障害者誘導用ブロックの色は、黄色その他の周囲の路面との輝度比が大きいこと等により当該ブロック部分を容易に識別できる色とする。
交差点	歩行者用青信号時間が短い	高齢者や障がい者が安全に横断できるよう、歩行者用青信号の延長などにより適切な青時間を確保する。	高齢者、障害者等が横断を終わるため通常要すると認められる時間内に赤色の灯火の信号の表示を開始しないものとする。
	エスコートゾーンがあるが劣化してつぶれている	横断歩道の表示等の適切な維持管理により、劣化箇所の速やかな修繕を行う。	-
商店街	買い物カートが雑然と置かれている	市民や事業者への周知・啓発を行い、心のバリアフリーを推進する。	-
	歩道にはみ出して商品を陳列しており通行しづらい箇所がある		
建築物	多目的トイレのドアは自動ドアが使いやすい	車椅子使用者等が円滑に利用できる構造のトイレを設置する(十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴込みがある洗面台の設置など)。	自動的に開閉する構造その他の車椅子使用者が容易に開閉して通過できる構造とする。／車椅子使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間を確保する。
	多目的トイレは車椅子で転回するには狭い		

施設種別	課題	対応の考え方	国のガイドライン等における望ましい対応
	舞台袖出入口のスロープが急でクランクになっていて狭い	主要な通路は、物や設備などで狭くならないように配慮する（120cm 以上）。	主要な経路上の廊下の幅は、120cm 以上とする。
	おむつ交換場所がない	バリアフリーのために、一般トイレは男性用女性用それぞれに、乳幼児用設備を備えたベビーカーが入る広めの個室を設置する。	ベビーカーとともに入れる広さを備えた、乳幼児椅子、乳幼児用おむつ交換台、着替え台等を備えた乳幼児設備を有する便所を設ける。
	エレベーターはストレッチャーが乗る広さが欲しい	エレベーターは、多様な利用者が円滑に利用できる構造とする（十分な広さ、車椅子使用者対応操作盤・開延長ボタン・浮き彫り表示のボタン・足元まで見える鏡・音声案内・緊急時等に情報提供を行う表示装置の設置など）。	主要な経路上のエレベーターの籠の奥行きは、135cm 以上とする。
	エレベーターの鏡に全身が映らないため安全確認しづらい		籠入口正面壁面の床上 40 cm から 150 cm 程度の範囲に、出入口状況確認用の鏡を設ける。
	エレベーターのボタンの位置が悪く押しづらい		車椅子使用者対応操作盤の設置高さは床から 100 cm 程度とする
	エレベーターのボタンが押しただかどうかわかりにくい		点字、文字等の浮き彫り、音による案内、その他これらに類するものにより、視覚障害者が円滑に操作することができる構造とする。
	カウンターが車椅子使用者には高い		受付には、車椅子使用者が利用できるローカウンターを設ける。
	カウンター上に物を置きすぎており受付の開放感が乏しい	受付には、車椅子使用者が円滑に利用できるローカウンターを設置する。	
	男女トイレの別を音声でわかりやすくしてほしい	わかりやすい位置に多様な利用者に配慮した案内を設置する（ピクトグラム、音声案内、点字・多言語表記など）。	建築物又はその敷地内のエレベーターその他の昇降機又は便所の配置を点字、文字の浮き彫り、音による案内、その他これらに類する方法により視覚障害者に示すための設備を設ける。／表示板は、ピクトグラム等の表示すべき内容が容易に識別できるものとする。
	トイレのサインが見えづらい		
	施設内案内板がなく目的施設がどこにあるかわかりにくい		
	敷地内通路の舗装にがたつきがある	道路と建築物の移動の連続性に配慮し、段差解消や視覚障害者誘導用ブロック若しくは音声案内の設置等を行い、円滑な移動を確保する（道路管理者と連携）。	主要な経路上及び車椅子使用者用駐車施設から建築物の出入口までの敷地内の通路は、原則として段を設けない。
	駐車場からのルートに段差がある		
	歩道から施設出入口まで視覚障害者誘導用ブロックがない		
	車椅子用の屋根付き駐車場がない	施設出入口付近に雨天時の乗降に配慮した障害者用駐車施設（幅 350cm 以上）を設置し、わかりやすく表示する。	車椅子使用者の乗降に必要なスペースは屋内に設ける、又は屋外の駐車施設に屋根若しくは庇を設ける。